

『紡ぐ』

2022.7.15 第45号

発行 教育相談室「あした塾」



今年はくくさんの花をつけました。バウの花言葉は「愛」と「美」です。その美しさは「花の女王」と言われるほど多くの人を魅了してきました。2万種以上の品種があるそうです。



(穴水町堀地内の道路脇)

こども食堂

みんなで食べるとおいしいね

～地域の子どもは地域で見守り、みんなで育てる～



6月18日(土) あおろ広場で「穴水っ子のこども食堂『ほっと庵』」の取り組みが行われ

した。この取り組みは、地元の人々に囲まれた暖かい食事の提供などの支援を通して、子どもの健全な育成を目指し、地域・ボランティア・社会福祉協議会・社会福祉法人・行政等が一体となり、地域の子どもを見守り、みんなを育てることを目的としています。当日は、保育園の子ども、小学生、中学生、親子ぐれなど200人を超える参加者がありました。

この取り組みには、献けた菜々、かあさん食堂



ボランティア、民生児童委員、6法人関係者がスタッフとして活動しました。この日は食事に関するアンケートも実施して、今後の活動の参考にしています。

穴水町が子どもに優しい。そして、地域で子どもを育てる。そんな町であってほしいですね。行政は町内小中学校の給食費完全無償化や、穴水中学校のバス通学生全員に通学費全額補助を決めています。さらに、



現状をしっかり把握して子育てしやすい、子どもたちが安全で安心して活動できる、そういう町にするための施策を形にしていってほしいものです。この町の所が、教育と福祉を抜きにしては考えられないとの指摘もあります。

穴水再発見の旅

旧能登線 廃駅めぐり

(後援 北国新聞社)

8月23日(火) 9:30～15:00(予定)

7(土)を(土)に。忘れられぬ廃駅。地域の人たちが見守っています。

新しい発見があるかも。ぜひご参加を。

申し込みは以下に。

穴水町堀地の197 滝井元之 まで

56-1151 or 56-1152 (FAX可)

「紡ぐ」は毎月15日(土)に発行予定です。

6月議会から

各議員の一般質問は...

大中正司議員 「未来づくり会議」について。
町職員の意識改革。人材の育成と確保。定水総合病院（奥能登医療体制構想他）。

山坂孝純議員 町営野球場改修について。
まちなか再生協議会への協力。

田方均議員 空き家再利用・崩壊危険家屋。耕作放棄地。農家支援。農林漁業関連諸問題対策室設置。

佐藤豊議員 地域防災計画の認知度。防災会議の開催時期と公民体の訓練への参加。町立学校施設整備基本計画策定業務委託。高齢者用電郵カート購入補助。

小谷政一議員 新焼却場の進捗状況とゴミ回収分別方法説明会。3R講習会。学校施設整備計画（木造校舎。定水校利用）。

伊藤繁興議員 定水総合病院（医師看護士の住宅建設。周産期医療センター設置など）。定水高校支援再考と公営塾。福祉行政について（ベビー・介護用品のリユース他）。移住者数支援策。意見交換会など。セレニール整備。

湯川かおる議員 出産と子育て環境の改善対策（出産医療体制。保育士の高齢化と保育士不足など）。文化財専任職員の配置。観光資源となる文化財史跡の発掘について。



（越の原のササユリ・6月4日）

定水町議会6月定例会一般質問には7議員が立ちました。傍聴者は報道関係者を含め7名でした。（役場新人職員は除く）

今回は馬渡管理課長。高田あけ福社課長。谷口住民課長。宮本教育委員会事務局長が初登壇に立ちました。予定された登壇とはほぼ無難な登壇でした。

議員の皆さん、アチを高くして！！

今議会質問で気づくことはいくつもありました。

① 新教育長に任じたにむかひわが。その所信を聴くことも含め教育現場の諸問題について。誰も質問しませんでした。（熊鷹の風力発電を巡る会へつた）



（熊鷹の風力発電を巡る会へつた）

② トキ放鳥と風力発電の問題について。地市町の議会では取り上げられているのに。山手 誰か触れませんでした。ちがひK. 風力発電の説明会には議会でも誰も一人。関係者が参加していません。それくらい軽い問題でしょうか？

③ トキ放鳥。ササユリ。文化財など。民間レベルで。それくらい努力している人たちがいるのに。湯川議員が触れただけでした。町の行く末。もっと関心を持つべきではないでしょうか？

④ 来年は統一地方選挙で議員選挙もあり。議員の皆さんは再選を目指すほう。この3年半ほど。どんな活動をしてきたのか。市民に知らせる責任があります。一度も質問しなかったのは活動がわかりません。この議会の「耳を高く」にお願いします。



（熊鷹の風力発電を巡る会へつた）

議会に関しては町ホームページ。また。後日配布される「議会だより」を見てください。